

1. 研修機関情報

(1) 法人情報

①法人格・法人名称・住所等

株式会社グレート 石川県金沢市本町 1-5-1 リファール1F

②代表者名、研修事業担当理事・取締役名

代表取締役 川島康将

(2) 研修機関情報

① 事業所名称・住所等

株式会社グレート 福井支店

福井県福井市花堂南1丁目 11-29 サン11ビル1階

②理念

介護サービスを実践するために必要な基本的な知識・技術を習得するとともに、職業倫理・態度を養成し、さらなるキャリア向上を目指す十分な意欲向上心を持って、福祉施設・病院等での介護業務および訪問介護サービス業務、その他の高齢者・障害者福祉サービスに関する業務で活躍しうる人材の養成を目的とする。

③研修施設、設備

| | | |
|-------------|--------------------------|---------|
| 名 称 | 株式会社グレート 鯖江教室 | |
| 所 在 地 | 福井県鯖江市東鯖江1丁目1番3号 MM6ビル2階 | |
| 面 積 | 97.8㎡ | |
| 収容人員 | 15名 | |
| 使用備品 一 覧 | 福祉用具等の名称 | 数 量 |
| | 介護用ベッド | 2台 |
| | 回転式介助バー | 2台 |
| | ベッドサイドテーブル | 2台 |
| | 車椅子（自走式、介助式） | 2台（各1台） |
| | ポータブルトイレ | 2台 |
| | 尿器 | 1個 |
| | ビーズパッド | 2枚 |
| | スライディングシート | 2枚 |
| | 杖 | 8本 |
| | デジタル血圧計 | 2台 |
| | ビデオデッキ | 1台 |
| | モニター | 1台 |

2. 研修事業情報

(1) 研修の概要

①学則

学 則

1. 目的

介護サービスを実践するために必要な基本的な知識・技術を習得するとともに、職業倫理・態度を養成し、さらなるキャリア向上を目指す十分な意欲向上心を持って、福祉施設・病院等での介護業務および訪問介護サービス業務、その他の高齢者・障害者福祉サービスに関する業務で活躍しうる人材の養成を目的とする。

2. 実施主体

- (1) 所在地：石川県金沢市本町 1-5-1 リファール 1F
(TEL 番号：076-262-9010 FAX 番号：076-263-7227)
- (2) 法人名：株式会社グレート
- (3) 代表者名：代表取締役 川島 康将

3. 名称

介護職員初任者研修 STEP UP! プログラム 2023.9 月コース

4. 実施場所

株式会社グレート 鯖江教室
所在地：福井県鯖江市東鯖江 1 丁目 1 番 3 号 MM6 ビル 2 階

5. 研修期間および募集期間

- (1) 研修期間：2023年9月12日～2023年10月18日
- (2) 募集期間：2023年7月14日～2023年9月10日

6. カリキュラムおよび担当講師名

別紙のとおり実施する。

7. 受講対象者および定員

(1) 原則として以下の要件を満たす方とする。

- ① 介護職を目指しているか、または介護に関心・意欲を持つ方
- ② 当社と雇用契約を締結し、介護の知識・技能を習得することで職業能力の開発及び向上が見込める方
- ③ 訓練の規約に従い受講が可能な方
- ④ 福井県内に在住で、無理なく通学可能な方

(2) 定員は10名とする。

8. 受講手続き

受講申込書に必要事項を記入し、弊社福井支店または研修実施場所にて面談の上、提出するものとする。

その際、規約および詳細についての説明を行う。

9. 研修参加費用

(1) 受講料：事業内訓練としての開講につき、受講料・テキスト費は無料とする

(2) その他の費用：実習先への交通費は、実費自己負担とする

10. 本人確認の方法

受講者に対し、受講申込受付時または初回の講義時に下記の方法により本人確認を行うとともに、確認書類の写しを保管する。

<運転免許証・パスポート・国家資格等の免許証または登録証・健康保険証・年金手帳・戸籍謄本・戸籍抄本・住民票・住民基本台帳カード・在留カードのいずれかの提示>

11. 補講の実施方法および費用

通学課程（講義・演習）の一部を欠席した場合もしくは通信課程を含む知識・技術の習得が十分でないと認められる場合は、該当者のみを対象とした個別の講義・演習により補講を行う。なお、補講の費用は無料とする。ただし、欠席した時間数が福井県の定める時間数を超えない範囲については、課題の提出に変える場合がある。

また、欠席した場合について、弊社がほぼ同時期に同一研修内容で別日程のコースを開講している場合は、該当科目のみ別日程のコースで振替受講できるものとする。その場合も費用は無料とする。ただし、振替受講により、一部科目の受講日や修了テスト実施日を変更する場合がある。

12. 研修修了の認定方法

次の条件をいずれも満たした者を修了者として認定する。

- ① 通信課程における全ての課題を提出し、添削指導を受けた者
- ② 通学課程における全ての科目・時間を受講した者
(※欠席等に関しては、11.に記載の要件を満たした者)
- ③ 次の評価基準を満たした者
 - ・ 修了評価テスト（筆記）において、概ね70%以上得点した者
 - ・ 介護技術演習内容の個別評価において、概ね70%以上の習得度を満たした者
 - ・ 実習において、実習レポートの内容、実習施設担当者の評価およびヒアリングから、実習成果が認められる者
 - ・ 受講態度および意欲が、修了に値すると認められる者
- ④ 原則として、訓練の修了要件を満たした者

②研修日程表

| 年月日 | 時間 | 時間数 | 科目名 | 講師 | 場所 |
|-------------------|-------------|-----|--------------------------------------|--------|------|
| 2023年 9月12日(火) | 9:00~9:20 | 0.5 | 開講式 オリエンテーション | | 鯖江教室 |
| 9月12日(火) | 9:20~12:30 | 3 | 多様なサービスの理解 | 上田 順子 | |
| | 13:20~16:30 | 3 | 介護職の仕事内容や働く現場の理解 | 上田 順子 | |
| 9月13日(水) | 9:20~12:30 | 3 | 人権と尊厳を支える介護 | 田中 恭枝 | |
| | 13:20~16:30 | 3 | 自立に向けた介護 | 田中 恭枝 | |
| 9月14日(木) | 9:20~12:30 | 3 | 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 | 板垣 奉子 | |
| | 13:20~14:50 | 1.5 | 老化に伴うところとからだの変化と日常 | 板垣 奉子 | |
| | 15:00~16:30 | 1.5 | 高齢者と健康 | 板垣 奉子 | |
| 9月19日(火) | 9:20~10:50 | 1.5 | 介護の基本的な考え方(面接指導) | 前川 嘉津子 | |
| | 11:00~12:30 | 1.5 | 介護に関するところのしくみの基礎的理解(面接指導) | 前川 嘉津子 | |
| | 13:20~16:30 | 3 | 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 前川 嘉津子 | |
| 9月20日(水) | 9:20~16:30 | 6 | 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 前川 嘉津子 | |
| 9月21日(木) | 9:20~10:20 | 1 | 障害の基礎的理解 | 松永 伸子 | |
| | 10:20~11:30 | 1 | 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 | 松永 伸子 | |
| | 11:30~12:30 | 1 | 家族の心理、かかわり支援 | 松永 伸子 | |
| | 13:20~16:30 | 3 | 医療の連携とリハビリテーション | 松永 伸子 | |
| 9月25日(月) | 9:20~10:20 | 1 | 認知症を取り巻く状況 | 松永 伸子 | |
| | 10:20~12:30 | 2 | 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 | 松永 伸子 | |
| | 13:20~14:20 | 1 | 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 | 松永 伸子 | |
| | 14:20~16:30 | 2 | 家族への支援 | 松永 伸子 | |
| 9月26日(火) | 9:20~16:30 | 6 | 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 前川 嘉津子 | |
| 9月27日(水) | 9:20~10:20 | 1 | 介護職の役割、専門性と他職種との連携(面接指導) | 前川 嘉津子 | |
| | 10:20~10:50 | 0.5 | 介護職の職業倫理(面接指導) | 前川 嘉津子 | |
| | 11:00~12:00 | 1 | 介護における安全の確保とリスクマネジメント(面接指導) | 前川 嘉津子 | |
| | 12:00~12:30 | 0.5 | 介護職の安全(面接指導) | 前川 嘉津子 | |
| | 13:20~16:30 | 3 | 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護(2-1) | 仲村 利恵 | |
| 9月28日(木) | 9:20~12:30 | 3 | 介護におけるコミュニケーション | 松永 伸子 | |
| | 13:20~16:30 | 3 | 介護におけるチームのコミュニケーション | 松永 伸子 | |
| 10月2日(月) | 9:20~16:30 | 6 | 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 上田 順子 | |

| | | | | |
|-----------|-------------|-----|----------------------------------|--------|
| 10月3日(火) | 9:20~16:30 | 6 | 入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 上田 順子 |
| 10月4日(水) | 9:20~12:30 | 3 | 介護保険制度 | 松川 奈穂美 |
| | 13:20~16:30 | 3 | 障害者自立支援制度およびその他の制度 | 松川 奈穂美 |
| 10月5日(木) | 13:20~16:30 | 3 | 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護(2-2) | 仲村 利恵 |
| 10月10日(火) | 9:20~16:30 | 6 | 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 前川 嘉津子 |
| 10月16日(月) | 9:20~16:30 | 6 | 介護過程の基礎的理解 | 上田 順子 |
| 10月17日(火) | 9:20~14:20 | 4 | 総合生活支援技術演習 | 上田 順子 |
| | 14:20~16:30 | 2 | 振り返り | 上田 順子 |
| 10月18日(水) | 9:20~11:20 | 2 | 就業への備えと研修修了後における継続的な研修 | 上田 順子 |
| | 12:20~13:50 | 1.5 | 修了評価テスト | |

| | 月 日 | 時間数 | 科 目 名 | 講 師 |
|--------|-------------------------------|-----|------------------|-----------------------|
| 実 習 | 10月11日(水)~10月15日(日) のうち1日間 | 4 | 介護実習 | 高雄苑 他 |
| | 10月11日(水)~10月15日(日) のうち1日間 | 4 | 在宅サービス提供現場見 学 | さくらが丘デイサー ビスセンター 他 |

③指導者数
6名

(2) 課程編成責任者名
片山悦子

(3) 研修カリキュラム

| 科目の細目 | 講義と演習の実施方法 |
|--|---|
| 1. 職務の理解 (6 時間) | |
| 多様なサービスの理解 (3 時間) | <ul style="list-style-type: none"> ・「介護とは何か？」を法律を通して確認する ・「介護の仕事とはどういう仕事なのか」をグループワークで考える。 ・「介護保険」で提供される介護サービスについて、代表的なサービスの紹介と具体的な介護職の仕事内容についての説明 ・自らの今後の仕事として目指す介護の理解と、労働現場である介護サービスの把握を教科書とDVDを使用して確認、理解することで自分の働き方をイメージする。 |
| 介護職の仕事内容や働く現場の理解 (3 時間) | <ul style="list-style-type: none"> ・居宅、施設サービスの仕事内容を説明し、事例に基づいて介護サービス、環境の現状等を理解する。 ・サービスを受ける利用者の立場からの介護への取り組み方の注意点・ポイントを理解する。 |
| 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 (計 9 時間 通学：6 時間 通信 3 時間) | |
| 人権と尊厳を支える介護 (4.5 時間) | <ul style="list-style-type: none"> ・QOL、ノーマライゼーションの概念を説明。そのあと事例検討を行い「尊厳とは何か」を深めていく。 |
| 自立に向けた介護 (4.5 時間) | <p>自立支援の理念とは何か、事例をいくつか取り上げて「生きがい」「できること」「できるようになりたい」そう思える意欲を引き出すような支援について理解し、グループワークで考えを深めていく。</p> |
| 3. 介護の基本 (計 6 時間 通学：3 時間 通信：3 時間) | |
| 介護職の役割、専門性と多職種との連携 (1.5 時間) | <p>生活の場を支える介護者としての専門性と様々の職種・それぞれの専門性を説明し、連携の必要性を理解する。</p> |
| 介護職の職業倫理 (1.5 時間) | <p>介護職の倫理について、求められる職業倫理の具体的な内容を理解する。特にプライバシーに関する点を中心に、個別の事例を通し説明し、対処方法や関わり方を理解する。</p> |
| 介護における安全の確保とリスクマネジメント (1.5 時間) | <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントと危機管理の違いについて理解する。 ・なぜ事故が起こるのか、どうすれば防ぐ事ができるのか、実際の事故を通し、グループディスカッションする。そのためのポイントとして、高齢者の特性を確認する。また、報告と情報の共有について理解する。 |
| 介護職の安全 (1.5 時間) | <ul style="list-style-type: none"> ・腰痛予防と感染症の予防対先についての指導。 ・介護職自身の健康管理がなぜ必要か説明し理解する。具体的な健康管理の方法と対策について、学習し理解を深める。 |

| | |
|-------------------------------------|---|
| 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（計9時間 通学：9時間） | |
| 介護保険制度（3時間） | <ul style="list-style-type: none"> ・制度創設の背景、その動向について説明し、基礎的な仕組みを、行政(福井市)で配布されているパンフレットを用いながら説明していく。 ・介護保険制度について「何が問題になっているか」グループワークで考えを深め入れ学ぶ。 |
| 障害者総合支援制度およびその他の制度（3時間） | ICF、障害者福祉の理念、ノーマライゼーションについて講義し、障害者の生活を支援する介護・福祉サービス制度を理解する。 |
| 医療との連携とリハビリテーション（3時間） | 医療機関との連携、リハビリテーション、医行為と介護について具体例を示し理解をはかり、介護職員が行える医行為についてどんなことに注意しなければならないかを学習する。 |
| 5. 介護におけるコミュニケーション技術（計6時間 通学：6時間） | |
| 介護におけるコミュニケーション（3時間） | 対人援助技術とコミュニケーションの知識、目的、方法をテキスト、演習を通じて理解を深める。 エゴグラムを取り入れて自己覚知し、コミュニケーション技法に役立てる。 |
| 介護におけるチームのコミュニケーション（3時間） | <ul style="list-style-type: none"> ・チームワークにおけるコミュニケーションの重要性をテキスト、演習を通じて理解を深める。 ・事例を通して、相談技術を学ぶ。 ・記録についての目的・方法・種類等を学び報告、連絡、相談の重要性を理解する。 |
| 6. 老化の理解（計6時間 通学：3時間 通信：3時間） | |
| 老化に伴うこころとからだの変化と日常（3時間） | ・老化により、身体的・精神的・社会的にどのような変化が起こるか、その観察のポイントを学び、それにより日常生活にどのような支障が表れるかをグループワークで検討。 |
| 高齢者と健康（3時間） | <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病、メタボリックシンドロームが与える影響を知り、予防や生活支援の方法を学ぶ。 ・老化により起こりうる疾病について理解し、生活援助の方法を学ぶ。 |
| 7. 認知症の理解（計6時間 通学：6時間） | |
| 認知症を取り巻く状況（1時間） | 認知症のケアの理念を確認後、認知症が進行してもその人が安心して生活できる様にするためには、何ができるかを考えることが大切であるということを学習していく。 |
| 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理（2時間） | 認知症の概念、医学的側面からみた障害を理解し、障害が起こるとどう変化するかを考える。認知症の中核症状について理解し、その対応方法を学ぶ。 共感的な姿勢で関わるケアとは、共感とは、について事例をもとに考えてもらう。 |
| 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活（1時間） | <ul style="list-style-type: none"> ・医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理について理解する。 ・認知症となる重要な疾患を理解する。 ・BPSDについて理解し、その対処方法や関り方を学ぶ。 |

| | |
|---|--|
| 家族への支援 (2時間) | 介護家族の負担感、困ることを理解し、どうすれば家族が安心できるかをグループワークで深めていく。 |
| 8. 障害の理解 (計3時間 通学:3時間) | |
| 障害の基礎的理解 (1時間) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者基本法について理解する。 ・ 障害とは何か、障害者福祉に ICF の視点を取り入れる重要性について理解する。 |
| 障害の医学的側面、生活障害、心理、行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 (1時間) | それぞれの障害を医学的に説明し、それによって起こる生活障害や、心理・行動の特徴、関わり方・支援の方法を自ら考え学ぶ。また高齢者の介護との違いを意識し、それぞれの障害の特性と介護上の留意点に対する理解を促す。 |
| 家族の心理、かかわり支援の理解 (1時間) | 障害者(児)の家族支援について、家族の心理の理解と受容、介護の負担の軽減など、家族にも寄り添うことの重要性をグループディスカッションを交えて学習する。 |
| 9. 心とからだのしくみと生活支援技術 (計75時間 通学:55時間 通信:12時間 実習:8時間) | |
| 介護の基本的な考え方 (3時間) | 要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護の方法、留意点、根拠等について理解し、理論に基づく介護の必要性を学習する。 |
| 介護に関する心とからだのしくみの基礎的理解 (3時間) | 介護に必要な心とからだのしくみの基礎的な知識を理解し、人の記憶の構造や意欲等を支援と結び付けて学習する。 |
| 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 (6時間) | 介護に必要なからだのしくみの基礎的な知識を介護の流れと共に理解し、具体的な身体各部の名称や機能等を学習する。 |
| 生活と家事 (3時間) | 家事の多様な内容について説明し、理解する。年齢による家事方法の違い、その中にある生活歴、価値観についてディスカッションを通し理解する。 |
| 快適な居住環境整備と介護 (3時間) | 年齢や疾病、障害によって快適な居住環境や整備方法に違いがある事を、個別の例を通し理解する。また、住宅改修、福祉用具について制度を含めて説明する。 要介護者が快適に過ごせるための環境整備のポイントについて学ぶ。 |
| 整容に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 (6時間) | 整容に関する基礎的な知識について理解し、実際の方法について受講生同士で行いながら技術や注意点を理解する。 |
| 移動・移乗に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 (6時間) | 移動・移乗に関する基礎的知識、使用する用具について説明。実際に行う際に必要なボディメカニクスの基本原則と技術、注意点を実際に行いながら理解する。 |
| 食事に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 (6時間) | 生活の基本である『食べる』ために必要な知識をテキストなどで説明し、事例演習を行い、技術を身につける。 |
| 入浴・清潔保持に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 (6時間) | 入浴・清潔保持の基本的知識をテキストなどで説明し、事例演習を行い、技術を身につける。 |

| | |
|--------------------------------------|--|
| 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (6時間) | 生活の基本である『排泄』のために必要な知識をテキストなどで説明し、事例演習を行い、技術を身につける。 |
| 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (3時間) | 睡眠のメカニズムから心地よい睡眠を確保するための環境や、福祉用具の活用法、支援の方法を学習し、睡眠が心と身体に与える影響について理解する。 |
| 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護 (6時間) | 終末期ケアの基礎知識、死に至る過程、死を迎える本人と家族の心理、支援の方法を学習し、死にゆく人の尊厳を守り、その人らしい生の最期を迎えるための介護のあり方をグループワークで検討し理解する。 |
| 企業実習 (8時間) | 特別養護老人ホーム、老人保健施設、デイサービス、デイケア等の事業所において介護サービス体験を行う。 |
| 介護課程の基礎的理解 (6時間) | 介護過程の意義・目的・方法をテキストなどで説明し、事例演習を行い理解を深める。 |
| 総合生活支援技術演習 (4時間) | テキストの事例問題を使い、今まで学んできた知識、技術を活かし、より深くアセスメントする方法を学ぶ。介護の現場をイメージしながら、介護過程に基づいた技術ができるように演習を行う。 |
| 10. 振り返り (4時間) | |
| 振り返り (2時間) | 研修を通して学んだこと、また継続して学ぶべき内容について個別に振り返り、発表しあい、ディスカッションする。 |
| 就業への備えと研修修了後における継続的な研修 (2時間) | 就業に備え、多様な介護現場と介護職の仕事内容を、資料や体験談を通して再度理解する。実際に行われている現場での研修について説明し、理解する。 |
| 合計 | 130時間 |

(4) 修了評価の方法

| 評価項目 | 評価方法 | 評価者 | 時期 |
|-------------|---------------------------------------|----------------|-------------|
| 修了評価 | ●筆記試験 | 筆記試験 担当講師 | 全科目終了後 |
| 生活支援技術の修得評価 | ●評価シートを使用した個別評価 ●受講態度・意欲 等 | 該当科目 担当講師 | 技術演習 期間中 |
| 実習の修得評価 | ●レポート ●実習指導者からのヒアリング ●実習態度・意欲 等 | 実習指導者 (実習先) | 実習終了後 |

(5) 実習施設

①各施設の概要

| 施設種類 | 実習施設・事業所名・所在地 | 受入人数 | 実習担当者 |
|--------------|--|------|--------|
| 特別養護老人ホーム | 社会福祉法人 足羽福祉会 足羽利生苑 福井市柁野町 20 号 7 番地 | 7 名 | 和田 智子 |
| 特別養護老人ホーム | 社会福祉法人きらめき福祉会 きらめきの里 鯖江 鯖江市小黒町 3 丁目 1009 番地 | 7 名 | 後藤 賢司 |
| グループホーム | 社会福祉法人きらめき福祉会 きらめきの里 鯖江 鯖江市小黒町 3 丁目 1009 番地 | 7 名 | 後藤 賢司 |
| 特別養護老人ホーム | 社会福祉法人 弥生福祉会 愛寿苑 福井市若杉 2 丁目 601 | 7 名 | 小川 理恵 |
| 障害者生活介護 | 社会福祉法人 九頭竜厚生事業団 九頭竜ワークショップ 七瀬の郷 福井市燈豊町 43-9-3 | 6 名 | 松井 充広 |
| 特別養護老人ホーム | 社会福祉法人 安居福祉会 高雄苑 福井市本堂町 51-33 | 7 名 | 水野 愛 |
| 特別養護老人ホーム | 社会福祉法人 健楽会 こしの渚苑 福井県福井市蒲生町 1-90-1 | 3 名 | 針原 光基 |
| 介護老人保健施設 | 医療法人 相木病院 シルバーハイツ武生 福井県越前市中央 2 丁目 9-40 | 7 名 | 三浦 直美 |
| グループホーム | 医療法人 相木病院 アクティブケアあいの樹 越前市小松 1-5-4 | 7 名 | 坂田 則雄 |
| 介護老人保健施設 | 医療法人 穂仁会 福井ケアセンター 福井市乾徳 4-5-8 | 4 名 | 森 仁美 |
| 特別養護老人ホーム | 社会福祉法人 白女林 特別養護老人ホーム 白楽荘 坂井市三国町梶 49-18 | 5 名 | 松川 美佳 |
| 認知症対応型共同通所介護 | 医療法人 穂仁会 グループホームけんとか 福井市乾徳 4-4-18 | 4 名 | 森 仁美 |
| 特別養護老人ホーム | 社会福祉法人 町屋福祉会 メゾンいまだて 越前市東檜尾町 8-38 | 5 名 | 山本 里実 |
| グループホーム | 福井県民生活協同組合 鯖江きらめき 鯖江市小黒町 3 丁目 10-21 | 7 名 | 内村 真大 |
| 特別養護老人ホーム | 社会福祉法人 敬仁会 第 2 溪山荘ぼっぼ 敦賀市鉄輪 1 丁目 2 番 57 | 10 名 | 佐飛 裕一 |
| グループホーム | 株式会社ケアふくい はないろ 吉田郡永平寺町松岡薬師 1-145 | 2 名 | 松原 律子 |
| 特別養護老人ホーム | 社会福祉法人 慈心会 第二ひかり苑泉の郷 福井市今泉町 25 字 15-1 | 7 名 | 熊谷 みゆき |
| 特別養護老人ホーム | 社会福祉法人 九頭竜厚生事業団 九頭竜ワークショップ シルバーケア九頭竜 勝山市平泉寺岩ヶ野第 42 号 61 番地 | 5 名 | 石井 多門 |
| 介護老人保健施設 | 医療法人社団 茜会 ディーパ茜 坂井市丸岡町羽崎 31-11-3 | 6 名 | 伊丹 宏介 |
| 通所介護 | 社会福祉法人 足羽福祉会 足羽利生苑 デイサービスセンター 福井市柁野町 20 号 7 番地 | 7 名 | 西田 勝俊 |

| | | | |
|-----------------|--|-----|--------|
| 小規模多機能 | 株式会社シンイカイ いろどり三郎丸 福井市三郎丸1丁目109 | 7名 | 竹内 久美子 |
| 小規模多機能 | 株式会社シンカイ いろどり二の宮 福井市二の宮3丁目32-21 | 7名 | 竹内 久美子 |
| 小規模多機能 | 社会福祉法人きらめき福祉会 きらめきの里 鯖江 鯖江市小黒町3丁目1009番地 | 7名 | 後藤 賢司 |
| 通所介護 | 福井県民生活協同組合 羽水きらめき デイサービス 福井市羽水1丁目107番地 | 7名 | 植田 智和 |
| 通所介護 | 福井県民生活協同組合 丹南きらめき デイサービス 越前市家久町49字 | 7名 | 佐々木 麻美 |
| 通所介護 | JA福井県 介護センター デイサービスセンターわかば 福井市湊4丁目606番地 | 5名 | 吉田 和浩 |
| 通所介護 | JA福井県 介護センター デイサービスセンターあい愛 福井市舟橋新1丁目106 | 5名 | 神谷 鷹洞 |
| 通所介護 | 社会福祉法人 弥生福祉会 愛寿苑デイサービスセンター 福井市加茂緑苑町402番地 | 7名 | 戸田 さとみ |
| 通所介護 | 社会福祉法人 健楽会 渚苑デイサービスセンター 福井県福井市蒲生町1-90-1 | 3名 | 山下 史 |
| 通所介護 | 社会福祉法人 安居福祉会 さくらが丘デイサービス 福井県福井市本堂町51-33 | 7名 | 佐野 香澄 |
| 通所介護 | JA福井県 デイサービスセンター こもれびの郷 坂井市春江町本堂23-21 | 3名 | 上坂 正樹 |
| 通所 リハビリテーション | 医療法人 相木病院 シルバーハイツ武生 通所リハビリテーション 越前市中央2丁目9-40 | 7名 | 高木 美雪 |
| 通所介護 | 医療法人 嶋田病院 いちごデイセンター福井 福井市米松1丁目14-15 | 3名 | 白崎桂一介 |
| 通所介護 | 医療法人 嶋田病院 和田東いちごデイサービスセンター 福井市和田東1丁目1410 | 10名 | 木賣 圭介 |
| 通所 リハビリテーション | 医療法人 穂仁会 福井ケアセンター デイケア 福井市乾徳4-5-58 | 2名 | 今田 洋子 |
| 通所介護 | 社会福祉法人 白女林 デイサービスセンターあじさい園 坂井市三国町梶49-18 | 10名 | 笹原 和代 |
| 通所介護 | 社会福祉法人 町屋福祉会 デイサービスセンターメゾンいまだて 越前市東樫尾町8-38 | 5名 | 山田 貴之 |
| 通所介護 | 株式会社住みかえ情報館 ケアフルハウスデイサービス 越前市広瀬町153-12-3 | 7名 | 笹川 久美子 |

| | | | |
|-----------|---|-----|--------|
| 看護小規模多機能 | 株式会社住みかえ情報館 看護小規模多機能 ケアフルハウス 越前市広瀬町 153-12-3 | 5名 | 笹川 久美子 |
| 通所介護 | 福井県民生活協同組合 鯖江きらめきあったかホーム 鯖江市小黒町 3丁目 10-21 | 7名 | 内村 真大 |
| 小規模多機能ホーム | 福井県民生活協同組合 鯖江きらめきハウス 鯖江市小黒町 3丁目 10-21 | 7名 | 内村 真大 |
| 通所介護 | 社会福祉法人 敬仁会 第2 溪山荘ぽっぽ デイサービスセンター 敦賀市鉄輪町 1丁目 2番 57号 | 10名 | 林 大作 |
| 通所介護 | 社会福祉法人慈心会 第二ひかり苑 泉の郷デイサービス 福井市今泉町 25字 15-1 | 7名 | 伊丹 恵 |
| 通所介護 | 社会福祉法人 池田町社会福祉協議会 ほっとプラザデイサービスセンター 今立郡池田町藪田 5-3-1 | 7名 | 廣田 和美 |
| 通所介護 | 社会福祉法人九頭竜厚生事業団 九頭竜ワークショップ デイサービスセンター九頭竜 勝山市旭町 3丁目 107番地 2 | 2名 | 石井 多門 |
| 小規模多機能 | 株式会社ケアふくい 小規模多機能型居宅介護なないろ 吉田郡永平寺町松岡薬師 1-145 | 2名 | 松原 律子 |

②実習中の指導体制・内容

事前指導：集合研修による実習オリエンテーション

実習の指導体制：各施設の担当者による指導

実習内容（各1日）：施設内見学・オリエンテーション、介護サービス体験（利用者とのコミュニケーション、利用者の状況に応じた介助補助及び関連業務）

振り返り：実習レポートの提出と、施設担当者による講評

実習時間数：6時間×2日

実施期間：2023年10月11日～2023年10月15日の期間中の2日間

3. 講師情報

| 講師名 | 略歴・現職 | 資格 |
|--------|-----------------------------|--------------------|
| 上田 順子 | ・介護員養成研修等の非常勤講師（現職） | ・介護福祉士 ・介護支援専門員 |
| 松永 伸子 | ・看護師 ・介護員養成研修等の非常勤講師（現職） | ・看護師 |
| 前川 嘉津子 | ・介護職 ・介護認定調査員(現職) | ・介護福祉士 ・介護支援専門員 |
| 田中 恭枝 | ・生活相談員 ・介護員養成研修等の非常勤講師 | ・社会福祉士 |
| 板垣 奉子 | ・看護師（現職） | ・看護師 |
| 仲村 利恵 | ・看護師（現職） | ・看護師 |

4. 実績情報

①過去の研修実施回数

2020年度：4回 2021年度：5回 2022年度：4回

②過去の研修延べ参加人数

2020年度：27名 2021年度：29名 2022年度：23名

5. 連絡先等

①申し込み・資料請求先

株式会社グレート福井支店 TEL 0776-32-6010

②法人及び事業所の苦情対応者名・役職・連絡先

支店長：片山悦子（福井支店）、TEL 0776-32-6010